



校長室だより No. 1
(平成 29 年 4 月 10 日)



泉大津市立上條小学校
校長 松田 義広

<http://izumiotsu-ed.jp/e-kamijo/hp/>

ホームページでは、日々の学校の様子をお伝えしています。

上條小学校では、校庭の芝生の芽吹きが春の訪れを教えてくださいます。

昨日、96名の新入生を迎えて入学式を行いました。おめでとうございます。

また、2年生は、1年間の成長が強く感じられる立派な「歓迎のことば」で迎えてくれました。ありがとうございました。

さて、この3月に平成32年度より完全実施される新しい小学校学習指導要領が文部科学省から示されました。本校でも、今年度より本格的な準備をしております。新たな内容も多く加わり、「主体的で、対話的で、深い学び」を求めています。もちろん、本校では、今まで通りの規律ある学校生活の中で学力向上・体力向上をめざすと共に、思いやりのある集団作りをめざし、誰もが楽しいと思える小学校になるよう努めてまいります。そして、伝統校に相応しい『上條っ子』を育ていけるよう、新しく加わった職員と共に、教職員一同『チーム上條』として取り組んでいくことには変わりありません。

そこで、今年度も、誰もがわかる授業をめざし全学年で少人数指導教員を配置いたします。そして、外国語活動を推進する中学校英語専科教員を新たに配置すると共に、ALTも継続派遣されます。また、基礎基本(ぐんぐんプリントなど)を大切にしながら、問題解決型の授業等を発展させ、「主体的で、対話的で、深い学び」となるような授業をめざしてまいります。さらに、1年生において早速『スタートカリキュラム』を実施し、就学前から小学校へのなめらかな学びの継続を行なうための教育課程を実施いたします。

生活面においても、昨年度のSSW(ソーシャルスクールワーカー)・SC(スクールカウンセラー)の配置に加えて、家庭教育支援サポーターの配置により、お子様や保護者の皆様が多様なことを相談できる体制をいっそう整えて参ります。関係機関との連携も密にしてまいります。

改めまして、就学前施設・小・中学校(小津校区)連携を、さらに深めながら、お子様へのきめ細やかな学習指導・生活指導につながるような学校運営に努めて参ります。

最後に、3号館閉鎖によるプレハブ建設につきましては、詳細が決まり次第、お知らせいたします。子どもたちには不便な思いをさせています。



上條小学校を去られた教職員

新しく来られた教職員

☆ 星川 雅子 (ご退職)
☆ 高岩 暢子 (旭小へ)
☆ 東山 有紀子 (戎小へ)
☆ 榎 雅子 (泉南市立砂川小へ)
☆ 橋下 知子 (穴師小へ)
☆ 岡崎 理沙 (戎小へ)
☆ 坂元 夏海 (羽曳野市立西浦小)
☆ 安井 ほのか (ご退職)
☆ 神之田 あゆみ (条東小へ)



☆ 藤谷 考志 (市教委から)
☆ 渡邊 美佐 (条東小から)
☆ 笠井 幾子 (戎小から)
☆ 山口 光代 (浜小から)
☆ 大島 麻里 (小津中から)
☆ 吉岡 綺音 (新規採用)
☆ 藺村 智代 (楠小から)
☆ 空田 宏美 (大阪市立高殿小から)



※城山先生はご結婚により橋下先生となりました。



平成29年度 学校職員体制



校長	松田 義広		教頭	西橋 康広	
首席	藤谷 考志		指導教諭	浅間 原子	
	1組	2組	3組		
1年	井崎 翔太	竹野 乃利子	山口 光代		
2年	古村 大樹	堂野 賢人	村君 伸子		
3年	白石 正博	堀口 怜			
4年	大力 馨子	山田 侑理子	今井 達也		
5年	東谷 昇	浅間 原子	吉岡 綺音		
6年	小西 直人	中西 珠生	阪口 裕之		
支援	たんぼぼ	ひまわり	すずらん	こすもす	すみれ
	安部 麻由	笠井 幾子	大西 智子	渡邊 美佐	梶村 耕平
音楽専科	清水 理恵	家庭科専科	鈴木 佳世	通級指導教室 (特別支援 Co)	鳩山 由美
少人数指導	大島 麻里・藺村 智代・藤谷 考志・太田 悠子・大岡 寛				
算数専科	山本 圭亮	英語専科教員	丹下 夏樹	養護教諭	堀田 真実
副主査	上中 一生		栄養技師	空田 宏美	
介助員	高橋 裕美子・小野 智子・藪本 優香・西田 嘉恵				
特別支援員	井坂 仁美		図書館司書	飯田 章子	
校務員	山口 与惣治・奥土 正廣		栄養士主任	酒井 亜里	

※ 藪教諭・辻(旧姓竹内)教諭は出産休暇をいただきます。

※ 玉野教諭・武田栄養教諭は引き続き育児休暇をいただきます。



★マークは、放課後に学校に遊びに来られない日です。

10	月	着任式 始業式 [10:30] ★	21	金	授業参観・懇談・PTA総会
11	火	離任式 [12:15] ★	24	月	通常授業開始(1年)
12	水	対面式 給食開始(2~6年)	25	火	SC
17	月	通級教室開始 図書貸出開始(2~6年)	26	水	委員会①
18	火	全国学力・学習状況調査(6年) SC ★	27	木	社会見学(6年)
19	水	給食開始(1年) ★			



※ 4月の保健行事につきましては、『保健だより』にてお知らせいたします。

5月の主な行事

家庭訪問 8日(月)・9日(火)・11日(木)・12日(金)
創立記念日 22日(月) 春の遠足 26日(金)

上條小ホームページについて

上條小学校のホームページは、毎日100アクセス近く利用していただいています。適時更新しており、学校の様子を知っていただくツールとして、ご利用ください。パソコンだけでなく、スマートフォンからでも閲覧可能です。

『校長室だより ハーモニー』もホームページに掲載しておりますが、インターネット上には、児童の名前等は原則として削除したものを掲載いたします。

また、子ども達の学校での活動の様子を、『学校の出来事』等に掲載しております。もし、お子様の顔写真等の掲載に配慮が必要な場合は、連絡帳で学級担任までお申し出ください。

学校よりのお便りについて

全校児童配布のお便りにつきましては、上條小学校に兄弟がいるご家庭には、弟妹のクラスのみに配布する場合があります。資源保護の観点からご了解ください。

その際の配布物には、左上に**家庭数配布**と明記いたします。

スタートカリキュラム[4月<入学式~月末>](1年)について

スタートカリキュラムとは、小学校へ入学した子どもが、就学前施設(幼稚園・認定こども園・保育所)での遊びや生活を通した『学びの芽生え』を基礎としています。そして、小学校での新たな生活に慣れていきながら、『主体的に自己を発揮できる学び』の基礎を培う「合科的・関連的な指導による学習」を取り入れたカリキュラムです。

上條小学校では、平成27年度よりスタートカリキュラムについて研究をはじめ、平成28年度には市研究指定校として研修を深めてきました。その間、隣接する就学前施設の全面的な協力・連携を得ながら、先進校への教員派遣や大学教授等を招聘した上での公開授業を行い、平成29年度実施に向けて準備をしてきました。

【上條今昔話】

上條校区の歴史～助松地区の歴史⑥～

六十六部供養塔

助松村境石造物群には「南無阿弥陀仏」「六十六部供養塔」と刻まれた石碑も残っています。

六十六部とは法華経を66部書き写し、日本全国66国の霊場に一部ずつ奉納してまわった僧のことをいいましたが、後に諸国の寺社へ参詣する巡礼をさすようになりました。この碑には次のような伝説が伝わっています。紀州街道を歩いてきた六右衛門という念仏聖が自分の寿命を悟って、生きたまま寝棺に入り、「鉦の音が途絶えたら埋めてくれ」と言い残して、地中に掘った穴に埋められた寝棺の中で鉦を叩き続けた。一週間後鉦の音が絶え、聖が亡くなった後、埋めた場所の上にこの石碑が建てられたといわれています。

助松村境石造物群には、「六十六部供養塔」をはじめ、なぜたくさんの石造物が残されているのでしょうか。この場所は、かつては助松村のはずれ（集落の南端）とされた寂しい場所でした。また、「白坊主が立つ」「追剥が出る」と恐れられる場所であったとも伝えられています。

日本ではムラ境が災厄の出入する場所と考えられ、サイノカミや地蔵など境神を祀ることが全国的にみられます。ムラ境に集中して信仰対象物を建立する例は、泉大津市域でも森村境石造物群や二田境石造物群にみられます。

助松村境石造物群も村境における信仰が残る例として、民俗学的にも歴史地理学的にも貴重な文化財といえるでしょう。



(泉大津市教育委員会生涯学習課に資料を提供して頂き掲載しました。)